

テレビ朝日系ドラマ『星降る夜に』で注目の“遺品整理士”のお仕事 『遺品整理はこれから生きていく方のためのもの』？－遺品整理現場の”リアル”

産婦人科医・雪宮鈴と、超高齢化社会となった日本で今まさに注目を集めている職業＝遺品整理士として働く柗一星の10歳差恋愛を育んでいくストーリーとなっているテレビドラマ「星降る夜に」。

このドラマをきっかけに、遺品整理というお仕事やサービスが一般家庭に広がり、関心を集めています。



星降る夜に 公式サイトより

遺品整理の仕事

遺品整理とは、『故人との思い出にしっかりとした気持ちの整理をつけ、ご遺品を、お別れする物と想いを紡いでいく物にきちんと整理していくこと』であると、私たち遺品整理想いは考えています。

「星降る夜に」作中の遺品整理会社ボラリスの社長も、『遺品整理は、亡くなられた方のためにするものではなく、これから生きていく方のためのもの』と語っていた通り、ご依頼者様の想いに寄り添い、物の整理だけでなく心の整理を行うことも遺品整理業者の使命です。作中でお品物の一つひとつ手に取り確認しているように、遺品整理想いででもご遺族の方と一緒に入念な確認作業を行い、「残すべき品物は残していく」ことを行いながら、お別れするものを整理しています。



遺品整理の需要

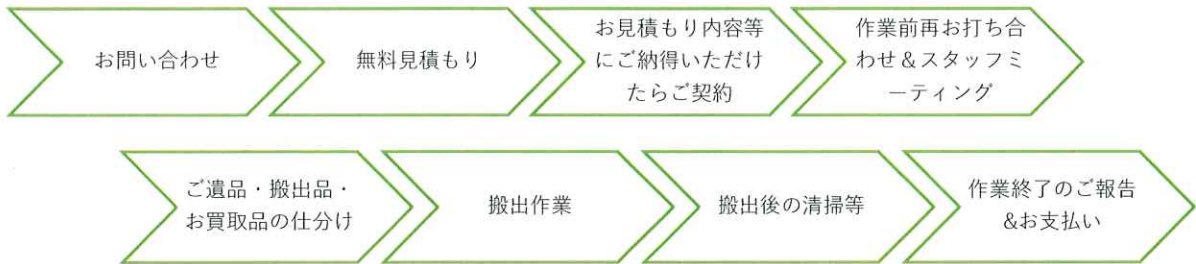
遺品整理業は、超高齢化社会や孤独死、空き家問題などの社会問題と密接な関係にあり、今後ますます需要が高まると予測されています。

弊社でも、遺品整理、生前整理に関するお問い合わせが年間700件を上回り、その需要の高さを痛感しています。そのような社会のニーズに少しでも多く応えるため、遺品整理想いは現在、旭川・函館・横浜へFC展開をしています。

遺品整理現場のリアル

では、具体的に遺品整理はどのような流れで進められていくのか。ドラマでは今のところそのような描写はありません。

遺品整理想いてでは、以下の流れで遺品整理の作業を進めています。



※不用品回収サービスや遺品整理サービスと称して買取を伴わない業者がご家庭からご不用品を持ち出すケースが増えています。一般家庭から廃棄物や不用品を持ち帰る行為は、法律で禁じられています。遺品整理想いてはどのような場合でも法令を遵守することを約束し、どうしても処分しなければならないものに関しては、一般廃棄物収集運搬の許可を持つ札幌市環境事業公社に委託しています。

取材可能なポイント & 取材のメリット

※ご依頼者様へ事前のご確認が必要になります

- ・お問い合わせ対応～作業完了までの従業員、お客様の姿
 - ⇒ 遺品整理の一連の流れがわかります
- ・見積もり、仕分けを行う従業員の姿
 - ⇒ 故人やご遺族の大切な物を一品一品確認する、ドラマと合致する場面が見られます
- ・本社事務所でお問い合わせ対応をする従業員の姿
 - ⇒ ご依頼者様のニーズや想いを知ることができます
- ・代表取締役、遺品整理スタッフへのインタビュー
 - ⇒ サービスにかける想いやこれまでのエピソードを聞くことができます
- ・お客様へのインタビュー
 - ⇒ サービスを利用してみて感じたことなどを聞くことができます

【遺品整理想いて】

コレクトワンリサイクルセンター（札幌市白石区菊水9条2丁目2-38）

古物許可番号 第101020001914

一般社団法人 遺品整理士認定協会 第IS09395号（特別賛助会員）

産業廃棄物収集運搬業許可番号 第00100186139号

2017年度～2022年度 遺品整理優良事業所認定

【本件に関するお問い合わせ】

広報企画部 川崎玲奈

TEL：011-818-7120 MAIL：north.rena.k@gmail.com



【運営会社】 ノースジュニアス・アール株式会社

札幌市豊平区平岸3条5丁目4-22 平岸グランドビル新館5F

【代表】 安藤 圭祐

【HP】<https://www.e-morayces-lives.co.jp/>